

「落語」でつながる地域の和ッ!!

千葉市中央区地域活性化支援事業、三年継続事業二年目

団体 落語研究会縁

代表 千葉家李桜（ちばやりおう）

☆目的

日本の文化《着物、落語の古典芸能》を身近に感じてもらい文化の継承をめざしたい。

☆事業の経過

★昨年の当初の予定が3校でしたが、実施が八回で五小学校の実施となりました。

本年度はすでに3校の申込みがありました。

★活動のためにしたこと。

- ① 中央区の全小学校へ9月から内容を書いた手紙を送付。
各校に電話をいれて説明。
- ② 詳しいことを聞きたい、という学校に資料送付。
- ③ 打ち合わせや説明をききたい、という学校を訪問。
- ④ 各学校ごとに開催日時を決める。
- ⑤ 開催実行。

★落語、着物、高座体験の内容

①落語のいろは

落語についての基本的な事柄の説明

座布団の置く方向、めくり。めくり台、寄席文字について

落語の小道具

扇子、手ぬぐいを使っての所作、

問題>なにを食べているのでしょうか?

高座について、例題を演ずる

出囃子とともに高座にのる。

お辞儀

↓

口上「名前を言う」

↓

いま好きなこと、食べ物、夢中になっていること、失敗したこと

↓

お辞儀

②着物の説明、羽織りの説明

羽織り着用での高座体験

まず先生から高座体験してもらおう。そして生徒へ

③落語実演、



落語のいろは



先生も高座へあげる予定

落語の実演



羽織りを二枚使用して、順番に高座にあがります。